



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 新日本理化株式会社 上場取引所 東
コード番号 4406 URL <https://www.nj-chem.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 芳樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部長 (氏名) 埜下 太一 TEL 06-6202-6598
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,080	△5.1	△95	—	304	16.1	△83	—
2023年3月期第3四半期	25,382	9.4	△226	—	261	△63.9	△235	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,244百万円 (281.2%) 2023年3月期第3四半期 326百万円 (△52.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△2.24	—
2023年3月期第3四半期	△6.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2024年3月期第3四半期	39,787	18,184	42.8	456.41
2023年3月期	38,553	16,954	41.2	425.54

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 17,016百万円 2023年3月期 15,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△3.3	0	—	300	184.8	100	—	2.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	37,286,906株	2023年3月期	37,286,906株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,587株	2023年3月期	3,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	37,283,507株	2023年3月期3Q	37,284,125株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中東での紛争が拡大するなど新たな地政学リスクの高まりを受け、不安定な状況にありました。内需と輸出のいずれも低迷が続く欧州経済は停滞が見られた一方、米国経済は個人消費支出と製造業を中心とする設備投資の増加を背景に堅調に推移しました。中国経済は米中貿易摩擦による輸出の冷え込みに加え、国内経済の不安要素が内需を抑制し、低調に推移しました。わが国経済においては、インバウンド需要の増加が続き、緩やかな回復が見られました。しかしながら、海外経済の停滞が続くなか、国際情勢の悪化に伴い、先行きの不確実性は高まりました。

このような環境のなか、当社グループにおいては、自動車産業の堅調な推移やインバウンド需要の増加などの好要因があったものの、欧州経済や中国経済の停滞による輸出不振や可塑剤の海外市況下落による価格競争力の低下などの影響が大きく、販売数量は伸び悩み、収益を圧迫する結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は240億8千万円（前年同四半期比5.1%減）となり、損益面では、営業損失9千5百万円（前年同四半期は2億2千6百万円の損失）、経常利益3億4百万円（前年同四半期比16.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失8千3百万円（前年同四半期は2億3千5百万円の損失）を計上する結果となりました。

当社グループは、中期経営計画（2022年3月期～2026年3月期）に基づき、サステナブル経営の実現に向けた事業構造の改革を推し進めております。

収益構造の見直しについては、不採算事業の整理・立直しを進めるとともに、環境負荷の低減を可能にする製品やバイオマス由来など環境価値の高い製品などの新規事業にリソースを重点配分いたします。具体的には、販売シェアの回復と徹底したコスト削減に努めるほか、製造拠点の集約や製品ラインアップの見直しなどの合理化に着手しており、昨年6月に原料調達難及びコスト競争力の低下を背景としたステアリン酸の生産を停止しており、収益を圧迫する既存事業のスクラップ&ビルドを更に加速させてまいります。一方、新規事業育成の面では、バイオマス事業に注力しております。環境課題解決に寄与するバイオマス由来の化粧品原料「リカナチュラ」をはじめ、バイオマス由来潤滑油「エヌジェルブ」、バイオマス可塑剤「グリーンサイザー」の3ブランドを成長させてまいります。

主要製品の概況は次のとおりであります。

トイレタリー向け界面活性剤においては、中国市場の減退および国内消費の低迷により数量、売上高ともに大幅な減少となったほか、需要が低迷していた繊維油剤原料向けアルコールは市場が回復に向かってはいるものの、数量は前年を下回りました。食品・医薬品向け添加剤が前年並みで推移した一方、日用品雑貨などのポリオレフィン樹脂成形物向け樹脂添加剤は、主要輸出先である欧州においてポリオレフィン需要が低迷し、数量、売上ともに前年を下回りました。

床材や電線被覆材などの建材向け原料である可塑剤製品は、国内需要が緩やかな回復基調にあったことから、販売数量は前年を上回ったものの、海外市況下落の影響が大きく、売上高は前年を下回りました。

自動車産業向け製品においては、需要回復から堅調に推移し、数量、売上ともに前年を上回りました。電子材料向け製品においては、実需要の回復は鈍いものの、メーカー需要に回復がみられ、数量、売上高ともに前年を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前期末比3.2%増となり、金額で12億3千3百万円増加の397億8千7百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したものの、仕掛品、原材料及び貯蔵品が減少したことなどにより、前期末比0.2%減、金額で3千3百万円減少の189億5千4百万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券の時価が上昇したことなどにより前期末比6.5%増となり、金額で12億6千7百万円増加の208億3千2百万円となりました。

流動負債につきましては、短期借入金の減少などにより、前期末比1.7%減、金額で2億1千9百万円減少の123億1千2百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の増加などにより、前期末比2.5%増、金額で2億2千3百万円増加の92億9千万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末比7.3%増、金額で12億2千9百万円増加の181億8千4百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は42.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。
今後、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,956	3,772
受取手形及び売掛金	7,938	8,524
電子記録債権	1,306	1,300
商品及び製品	2,787	2,610
仕掛品	2,012	1,416
原材料及び貯蔵品	1,645	1,073
その他	344	258
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	18,987	18,954
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,281	4,281
その他(純額)	5,531	5,530
有形固定資産合計	9,813	9,812
無形固定資産		
	25	36
投資その他の資産		
投資有価証券	9,147	10,458
その他	580	526
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	9,726	10,983
固定資産合計	19,565	20,832
資産合計	38,553	39,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,374	7,210
短期借入金	2,696	1,490
1年内返済予定の長期借入金	2,021	1,575
未払法人税等	40	83
賞与引当金	309	152
その他	2,089	1,801
流動負債合計	12,532	12,312
固定負債		
長期借入金	5,443	5,176
役員退職慰労引当金	87	56
退職給付に係る負債	1,821	1,851
その他	1,713	2,205
固定負債合計	9,066	9,290
負債合計	21,598	21,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,075	4,075
利益剰余金	3,796	3,712
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,532	13,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,511	3,472
繰延ヘッジ損益	△3	△6
為替換算調整勘定	△133	134
退職給付に係る調整累計額	△40	△31
その他の包括利益累計額合計	2,333	3,568
非支配株主持分	1,088	1,167
純資産合計	16,954	18,184
負債純資産合計	38,553	39,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	25,382	24,080
売上原価	21,939	20,470
売上総利益	3,442	3,610
販売費及び一般管理費	3,669	3,706
営業損失(△)	△226	△95
営業外収益		
受取配当金	149	154
持分法による投資利益	358	262
受取保険金	24	128
その他	41	36
営業外収益合計	574	581
営業外費用		
支払利息	38	36
為替差損	19	3
和解金	—	106
その他	26	35
営業外費用合計	85	181
経常利益	261	304
特別利益		
投資有価証券売却益	—	64
特別利益合計	—	64
特別損失		
事業再編損	—	138
減損損失	170	8
投資有価証券評価損	21	—
特別損失合計	192	147
税金等調整前四半期純利益	69	221
法人税、住民税及び事業税	45	114
法人税等調整額	235	97
法人税等合計	280	212
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△211	9
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	92
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△235	△83

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△211	9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	246	961
繰延ヘッジ損益	△12	△2
為替換算調整勘定	7	15
退職給付に係る調整額	△8	8
持分法適用会社に対する持分相当額	304	252
その他の包括利益合計	537	1,234
四半期包括利益	326	1,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	302	1,150
非支配株主に係る四半期包括利益	24	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。